2018年2月26日

日本生活学会

会長 内田青蔵

２０１７年度 今和次郎賞および日本生活学会研究論文賞

受賞者選定に関するお知らせ

 　　　　　　　　日本生活学会は、下記の規定に則り、2017年度今和次郎賞および日本生活学会研究論文賞受賞者選定を行うことになりました。

　つきましては、会員の皆様からの推薦をいただきたいと考えますので、推薦状書式はホームページからダウンロード頂きご記入の上、2018年3月8日までに下記送付先の学会事務局宛へお送り下さい（両賞とも推薦は会員のみ可能とさせていただきます）。

　日本生活学会研究論文賞選定については、対象の『生活学論叢』掲載論文一覧をご参考ください。

　なお、学会に寄贈していない著書、学会以外に発表された論文等を推薦する場合、または研究会などにおける口頭発表を推薦する場合は、選考のできる資料として、現物またはコピ－の形で添付してご推薦下さい。

お問合せ先

日本生活学会事務局

〒162-0801　東京都新宿区山吹町358-5　アカデミーセンター

TEL：03-5389-6237　FAX：03-3368-2822　E-mail：lifology@bunken.co.jp

# 今 和次郎賞規定

日本生活学会は、生活学の提唱者である初代会長今和次郎氏を記念し、生活研究の振興を目的として　今和次郎賞を制定する。

１．授賞は、近年に公表された個人または集団の優秀な業績（著書または論文など）を対象とする。

１月１日より１２月３１日の間に公表されたものを中心に、概ね、過去３年以内に完成されたものとする。

　　なお、該当者のないときは授与しない。

２．受賞者の資格は、原則として日本生活学会会員とする。

３．受賞者には、賞状・賞牌を授与する。

４．受賞者の選考は、選考委員会が行い、理事会で決定する。

５．選考委員会は、理事会が指名したものによって構成される。

　　選考委員のうち1名以上は過去の受賞者を含むものとする。

６．授賞式および選考報告は、毎年、日本生活学会の総会において行う。

# 日本生活学会研究論文賞規定

日本生活学会は、生活学の振興と研究の奨励を目的として、日本生活学会研究論文賞を制定する。

１．授賞の対象は、１月１日より１２月３１日までの、『生活学論叢』など当学会の編集、刊行する印刷物に発表された論文、および研究発表大会、月例研究会その他、当学会の主催する研究会等で発表された報告、前記諸報告のデーターを用いてまとめられた論文、著書等とする。

　　なお、該当者のないときは授与しない。

２．受賞者の資格は日本生活学会会員とする。

３．受賞者には、賞状を授与する。

４．受賞者の選考は選考委員会が行い、理事会で決定する。

５．選考委員会は理事会が指名したものをもって構成する。

６．授賞式および選考報告は、毎年、日本生活学会の総会において行う。

２０１７年度日本生活学会

研究論文賞選定対象『生活学論叢』掲載論文一覧

（今 和次郎賞ならびに研究論文賞（奨励賞）受賞者は除く）

**『生活学論叢』Vol.30**

**論文**
儀礼の創出と地域住民のアイデンティティ表象に関する研究

―栃木市都賀町家中の“強卵式”の事例から―　　　　　　　　　松田 俊介・酒井 貴広　早稲田大学

トランスナショナルな生活世界を生きる個の理解を目指して
―映像民族誌的方法の実践的検討―　　　　　　　　　　　　　　大橋 香奈・加藤 文俊　慶應義塾大学

**『生活学論叢』Vol.31**

**論文**

調理用エネルギー源の選択における食文化の影響

―ウガンダ・カンパラ首都圏における調理方法と木炭の需要―　　　　浅田 静香　京都大学

伝承方法の転換とコンフリクトの発生

―岸和田だんじり祭における囃子の「均等打ち」化問題を事例に―　有本 尚央　甲南女子大学

イランの河川灌漑システムによる農業とそれを巡る水危機

―ザーヤンデルード下流地域ヴァルザネ市における生業の維持と変容からの検討―

西川 優花・三好 恵真子　大阪大学

２０１７度　今 和次郎賞候補者推薦状

|  |  |
| --- | --- |
| 個　人　名または団　体　名 |  |
| 著　書　名または論　文　名 |  |
| 公刊年月日または完成年月日 |  | 出版社名または掲載雑誌 |  |
| 推薦理由 |  |

名　前　　　　　　　　　　　　　　　　　印

２０１７年度　日本生活学会研究論文賞候補者推薦状

|  |  |
| --- | --- |
| または |  |
| または |  |
|  |  |
| 推 薦 理 由 |   |

名　前　　　　　　　　　　　　　　　　　印